



2012年5月13日 震災復興支援 日本復活と投資を語る義捐金セミナー
「未来を創る子供たちの為にいま出来ることを」

義捐金セミナー開催にあたりまして

東日本に未曾有の被害をもたらした大震災から1年、日本はお互いを助け合う絆を確認し、復興と経済復活に向けて邁進しております。

そして、昨年5月14日に「必ずニッポンは立ち直り、世界に復権する」義捐金セミナーを実施しました。

今年も志を共にするメンバーが集まり、日本経済・株式の今後の展望について改めて語り合いたいと考えております。

今年も義捐金セミナーとさせていただきます全額を「東日本大震災こども未来基金」に寄付いたします。

日時 2012年5月13日(日) 13:25～(13:00受付開始)

場所 東京国立博物館 平成館大講堂

定員 席数 400席

参加費 無料 ※当日会場にて義捐金(1口3,000円)をお願いいたします。

義捐金は主催者を通じて全額「東日本大震災こども未来基金」に寄付いたします。

「東日本大震災子ども未来基金」について

東日本大震災によって、多くの子どもたちが親をなくしました。そうした子どもたちが安心して学習を続けられるように、少しでも支援しようと設けたのが「東日本大震災子ども未来基金」です。できるだけ多くの個人や法人から資金を集め、その全額を子どもたちに提供できる仕組みにし、最長 5 年間、小学生から高校生までの児童・生徒に月 2 万円の学資支援金を支給します。特定非営利活動法人（NPO 法人）理事長 高成田 享

内容

- 澤上 篤人 「日本経済の展望と長期投資のすすめ」
- 武者 陵司 「金融危機からの生還、日本株投資チャンス」
- 鈴木 行生 「日本企業成長の息吹を見る」
- 高松 一郎 「投資最前線からの市場分析および投資テーマ」

スケジュール

- 13 : 00 受付開始
- 13 : 25～13 : 30 主催者あいさつ
- 13 : 30～13 : 40 「東日本大震災子ども未来基金」ご協力の呼びかけ
高成田 享氏
- 13 : 40～14 : 10 講演(1) 澤上 篤人氏
「日本経済の展望と長期投資のすすめ」
- 14 : 10～14 : 40 講演(2) 武者 陵司氏
「金融危機からの生還、日本株投資チャンス」
- 14 : 40～14 : 50 休憩
- 14 : 50～15 : 20 講演(3) 鈴木 行生氏
「日本企業成長の息吹を見る」
- 15 : 20～15 : 50 講演(4) 高松 一郎氏
「投資最前線からの市場分析および投資テーマ」
- 15 : 50～16 : 00 休憩
- 16 : 00～16 : 45 質疑応答と討論 講演者ディスカッション
モデレーター 中野秀代氏
- 16 : 45 終了

出演

司会：叶野喜和子（かのうきわこ）

株式会社 C&A キャピタル・マネージメント ディレクター

質疑・討論進行：中野秀代（なかの ひでよ）

株式会社 トリアス 代表取締役

澤上 篤人（さわかみ あつと）氏

さわかみ投信株式会社 代表取締役会長 兼 最高投資責任者

70年から74年までスイス・キャピタル・インターナショナルにてアナリスト兼ファンドアドバイザー。その後、80年から96年までピクテ・ジャパン代表を務める。96年にさわかみ投資顧問を設立し、99年には日本初の独立系投資信託会社であるさわかみ投信を設立。『さわかみファンド』1本のみの運用で、純資産は2,400億円、顧客数は11万人を越え日本における長期運用のパイオニアとして熱い支持を集めている。販売会社を介さない直販にこだわり、長期投資の志を共にできる顧客を対象に、長期保有型の本格派投信「さわかみファンド」を運営している。

武者陵司（むしゃ りょうじ）氏

株式会社武者リサーチ代表取締役

1973年横浜国立大学経済学部卒。大和証券株式会社企業調査アナリスト繊維、建設、不動産、自動車、電機・エレクトロニクスを担当、大和総研アメリカ（ニューヨーク駐在）、大和総研企業調査第二部長を経て、1997年ドイツ証券(旧称：ドイチェ・モルガン・グレンフェル証券東京支店)入社、調査部長兼チーフストラテジストを担う。2005年ドイツ証券副会長兼チーフ・インベストメント・アドバイザーに就任。2009年7月株式会社武者リサーチ設立。ドイツ証券株式会社アドバイザー就任。2007年4月より埼玉大学大学院客員教授兼任。【主な著作】『失われた20年』の終わり」2011年3月東洋経済新報社、「日本株大復活」2009年8月PHP研究所、「新帝国主義論」2007年4月東洋経済新報社、「アメリカ蘇生する資本主義」1993年12月東洋経済新報社など。

鈴木行生（すずき ゆきお）氏

(株)日本ベル投資研究所 代表取締役 主席アナリスト

1950年生まれ。福島県会津若松出身。東京理科大学大学院理工学研究科修士課程修了。

75年(株)野村総合研究所入社、自動車、重工機械、鉄鋼、国際商品市況、合繊などの産業を担当、東京、大阪、パリでの企業アナリストを経て、96年取締役企業調査部長。97年野村証券(株)取締役金融研究所長。2000年野村アセットマネジメント(株)常務執行役員調査本部長。05年野村ホールディングス(株)取締役。07年社団法人日本証券アナリスト

協会会長(09年8月まで)。10年7月(株)日本ベル投資研究所を設立し、IRアナリスト(Independent Research Analyst)として活動中。

現在、公益社団法人日本証券アナリスト協会顧問、東京理科大学評議員。

日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)

高松一郎(たかまつ いちろう)氏

ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社 運用第二部長

1989年 太平洋証券(株)(現 三菱UFJモルガンスタンレー証券(株))入社後、国内株式アナリスト及び証券営業に従事。1997年 米系保険会社傘下のシグナ・インターナショナル・インベストメント・アドバイザーズ(株)に入社、ポートフォリオ・マネージャーとして、内外機関投資家による日本、韓国、及び台湾株式等総額600億円規模の資産運用を担当。2000年 同社株式運用部門の総責任者に就任。世界主要運用機関が登録するInterSec Research社による日本株式運用ユニバース・ランキングにて、運用開始来7年間通算で上位13%、最終2年間は上位1%にランクイン。2004年7月 アルフェックス・インベストメンツ(株)を設立。日本株式ロング・ショート戦略及びショート・バイアス戦略のファンド運用において優れた実績を残す。2010年7月 ベイビュー・アセット・マネジメントへ運用ファンド及び同運用チームと共に移籍、現在に至る。1989年関西学院大学法学部卒。日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)。

主催(50音順)

株式会社トリアス <http://www.trias.co.jp/>

ビグダグ(運営会社:C&Aキャピタル・マネージメント)<http://vigdug.com/>

株式会社みんかぶ <http://minkabu.jp>

株式会社武者リサーチ <http://www.musha.co.jp/>

会場

東京国立博物館 平成館大講堂

住所 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

最寄り駅

JR 上野駅公園口、または鶯谷駅下車 徒歩10分

東京メトロ 銀座線・日比谷線上野駅、千代田線根津駅下車 徒歩15分

京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩15分

